

# うございます

県民表彰などの各表彰者を紹介します。

## 県民表彰（産業・商工）

大石 重信さん  
（鷹島・阿翁、78）



永年にわたり、松浦市福鷹商工会の会長として、特に鷹島地域と福島地域における中小企業や個人経営体の経営改善の支援、更には商工業の振興を通じて地域の発展に貢献いただくとともに、住みよい暮らしの実現に向け、多大なるご尽力をいただきました。また、商工会同士の合併による松浦市福鷹商工会の設立時には、副会長として初代の会長を補佐しながら、設立後のスムーズな運営に手腕を発揮されました。

このような活動によって、商工会の発展および会員による適切な事業運営が図られ、市民の身近な暮らしの向上や地域経済の発展にも大きな成果がもたらされました。

## 県民表彰（保健・環境）

久家 美保子さん  
（星鹿・川原辺田、72）



永年にわたり、松浦市母子保健推進員として、安心して妊娠・出産・育児ができるよう市民と行政とのパイプ役を担われました。また、母親に寄り添う身近な相談者としての適切な指導や助言のほか、心理的なサポートといった幅広い分野の活動に携わられました。

このように、子ども達の健やかな成長へのサポートなどに、手腕を発揮される一方で、これまでの活動によって培った知識や経験を基に、後身の育成にも尽力されました。このような活動によって、地域の子育て支援や社会問題化している児童虐待の未然防止など、適切な母子保健の推進に貢献されました。

## 県民表彰（交通安全・防犯）

松口 榮さん  
（志佐・中町、87）



永年にわたり、松浦地区交通安全協会会長として、安心・安全で快適な交通社会をめざし、悲惨な交通事故による犠牲者を出さないため、交通秩序の確立と交通道徳を高めることを目的とした街頭活動の推進に貢献されました。また、交通マナーの普及と正しい交通ルールを身に付けるための交通安全教室など、地域における交通安全活動の中心的な立場として、積極的な交通事故防止に取り組みられました。さらに、交通安全協会の健全な運営並びに会員の確保にも尽力されました。

このような活動によって、特に子どもや高齢者にも優しい交通事故の無い安全で安心な地域づくりに向けた機運の高まりにつながりました。

## 県民表彰（特別賞）

板垣 勇さん  
（松浦高等学校、48）  
なぎなた部顧問



国際なぎなた連盟が主催する第7回世界なぎなた選手権大会に、日本代表として出場され、大将を努めた団体試合の部並びに正確さや呼吸・間合いなどを競う演技競技の部でいずれも優勝の栄誉を勝ち取られ、本市はもとより長崎県における「なぎなた」の普及と競技レベルの向上に貢献されました。

普段は、長崎県立松浦高等学校なぎなた部の監督及び長崎県なぎなた連盟の強化部長を努めながら、指導者として後進の技術向上などに尽力されています。

このたびの世界大会での活躍は、本市をはじめ長崎県におけるなぎなたの普及に大きな弾みとなりました。

※年齢は、表彰式当日の令和元年11月23日現在。

## 2019年度長崎新聞文化章（産業・科学部門）受章

高野 匡史さん

株式会社エミネントスラックス元社長の高野匡史さん（奈良県在住）が、2019年度長崎新聞文化章（産業・科学部門）を受賞されました。

株式会社エミネントスラックスは昭和44年8月、本市の誘致企業第1号として操業を開始されましたが、松浦への進出を英断されたのが高野さんです。

同社の本市での操業は、失業などに苦しむ労働者の受け皿となり、所得の安定をもたらすなど、疲弊した本市の産業に勢いを取り戻す一つの契機となりました。平成30年には「WESTORY」ブランドを立ち上げられ、地方創生の実践とともにスラックス販売を海外へも展開されるなど、さらなる発展が期待されています。

同社は、本市への進出当時から「品質第一」を掲げ、操業から半世紀を迎えた今日においても最高峰の品質を保持しています。紳士用スラックスにおいて日本一を誇る業績に加え、地元雇用による長年にわたる「人づくり」、「ものづくり」を通して、地域経済への多大なる貢献をされたことが高く評価され、このたびの受章となりました。



## 全国スポーツ推進委員連合 功労表彰・30年勤続表彰

《功労表彰》吉田 建也さん（福島・土谷）

《30年勤続表彰》井手 ケイ子さん（御厨・前田）

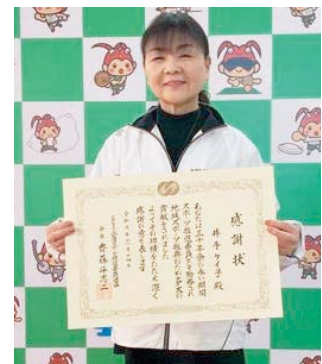
吉田建也さんは、昭和60年に福島町体育指導委員として就任以来、現在も引き続き生涯スポーツの振興に尽力されています。吉田さんは、平成8年から平成17年まで福島町体育指導委員協議会理事を務められ、平成18年の合併後も松浦市スポーツ推進委員協議会理事として中心的な役割を果たされています。

井手ケイ子さんは、平成2年に松浦市体育指導委員として就任以来、現在も引き続き生涯スポーツの振興に尽力されています。井手さんは、平成22年から平成28年まで松浦市スポーツ推進委員協議会理事及び長崎県スポーツ推進委員協議会女性委員を務められ中心的役割を果たされました。

お二人は、ロードレース大会や市民駅伝大会への積極的な参画のほか、ニュースポーツ講習会や生涯スポーツ教室では幅広い年齢層に向けたプログラムを作成するなど、社会体育の普及活動に努められており、これまでの活動が評価され全国スポーツ推進委員連合から受けられました。



▲吉田建也さん



▲井手ケイ子さん